

## RXファミリ用C/C++コンパイラパッケージ ご使用上のお願い

RXファミリ用C/C++コンパイラパッケージの使用上の注意事項を連絡します。

- 最適化リンケージエディタのROM化支援オプション(-rom)を使用する場合の注意事項(LNK-0012)

注：注意事項の後ろの番号は、注意事項の識別番号です。

### 1. 該当製品

- RXファミリ用C/C++コンパイラパッケージ (CubeSuite+用)  
V1.02.00 ~ V1.02.01
- RXファミリ用C/C++コンパイラパッケージ (High – performance Embedded Workshop用)  
V.1.00 Release 00 ~ V.1.02 Release 01

### 2. 内容

□ケーションカウンタの境界調整数 (アライメント補正值) が2以上で、かつ、サイズ0のセクションを -romオプションのRAM側に指定した場合、ROMセクション内の定義シンボルが正しくRAMセクション内アドレスに配置されない場合があります。

### 3. 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に、発生することがあります。

- (1) コンパイルオプション "-endian=big" を指定している。
- (2) 複数のオブジェクトファイル内にサイズ0の同名セクションが存在している。
- (3) リンクオプション "-rom" を指定し、RAM側に(2)のセクションを指定している。
- (4) (3)で指定したRAM側のセクションがROM側のセクションより大きい値のアライメント補正值が指定されている。

### 4. 発生例

#### 4.1 ソース例

コンパイルオプションに "-endian=big" 指定 ;発生条件(1)

```

-----
tp1.src
.SECTION R_1,DATA ; 発生条件(2)、(3)および(4)
.END

tp2.src
.SECTION D_1,ROMDATA ; 発生条件(4)
.glb _label
_label:
.byte 01H

.SECTION R_1,DATA,ALIGN=2 ; 発生条件(2)、(3)および(4)
.END
-----

```

## 4.2 リンクコマンド例

```

-----
optlnk tp1.obj tp2.obj -rom=D_1=R_1 -start=D_1,R_1/100
-----

```

## 4.3 リンク結果例

```

-----
00000100 .section D_1,romdata
.org 00000100h
00000100 01 .byte 01h
;
00000101 .section R_1,data
.org 00000101h
00000101 00000001 .blkb 1
00000102 _label:
00000102 00000001 .blkb 1
;
.end
-----

```

上記の結果に対して、D\_1のデータをR\_1に転送した場合、D\_1内の0x01がアドレス0x00000101に転送され、0x00000102にはデータ転送が実施されません。そのため、"\_label"には不定値が設定されます。

## 5. 回避策

リンクオプション "-rom" で指定するセクションに対して ROM側とRAM側のアライメント補正値を同じ値にしてください。

## 6. 恒久対策

CubeSuite+用のRXファミリ用C/C++コンパイラパッケージは、

次期バージョン (2013年4月16日リリース予定) で改修する予定です。  
High-performance Embedded Workshop用の  
RXファミリ用C/C++コンパイラパッケージの改修は未定です。

---

**[免責事項]**

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。  
ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.